

安心・安全で魅力ある 中国地方を築き、未来につなぐ

私たちは、中国地方がもつ自然環境、歴史や文化、製造業を中心とした産業などのポテンシャル（潜在力）を最大限に活かし、次世代に引き継ぐ魅力ある地域づくりを目指しています。

そこに込められているのは、中国地方への「想い」です。

また、近年多発する豪雨災害や、今後発生が想定される大規模地震などに対する防災・減災対策、高度成長期等に整備したインフラ施設の老朽化対策など、日本を取り巻く様々な環境に対して、広域的な視点から「国」として対応することが私たち中国地方整備局の職員には求められます。

私たちが見つめる先には、誰もが安心・安全に暮らすことができ、魅力が溢れる中国地方、そして日本を築き、未来に繋いでいくという目標があります。「国でしかできない仕事」、「国だからできる仕事」がここにはあります。

中国地方のあるべき姿を目指して

技術(土木) 本局企画部 企画課 係長 寺岡 浩



中国地方は、関西・四国・九州を結ぶ地理的条件に恵まれ、山陰と山陽の魅力ある2つの地域性や、豊かな自然、歴史、文化を有するなど、優れている面が多くあります。一方で、全国の中でも人口減少や高齢化が進んでおり、また、広大な中山間地域により居住可能な土地が限られ、災害リスクの高い地域に多くの人口や資産が集中しています。

このような中国地方の特徴を踏まえ、中国地方整備局は広域的な視点で50年後、100年後の中国地方のあるべき姿を目指し、地域住民の方、民間事業者、

関係する行政機関など、いろいろな人と力を合わせ、プロジェクトを進め社会に貢献しています。

一つ一つのプロジェクトを進めていく上では困難が伴うこともありますが、中国地方整備局だからこそできる仕事であり、誇りを持って携わることができる、やりがいのある仕事だと思います。

皆さんが培った感性や、柔軟な発想力、コミュニケーション力を活かし、私たちと一緒にこれからの中国地方を創っていきましょう。

道づくりの「道」を歩んでみませんか!!

事務 広島国道事務所 計画課 専門官 小尻 竜二



皆様はこれまで、それぞれの「道」を歩んでこられたかと思いますが、私の所属する計画課は、道づくりに関する中長期計画、事業評価や整備効果の検証、渋滞及び環境対策などを行っており、そのうち広報に関する業務などを担当しています。

平成30年7月豪雨では、当事務所の管轄内においても、幹線道路などの交通基盤が寸断され、各所で発生した通行止めや大渋滞の影響から人や物流の停滞を招き、当事務所が迂回路設置により短期間で交通開

放した幹線道路においては、“命のみち”と呼ばれるなど、連日の報道収集により、社会活動における道路の重要性を再認識できたところです。

冒頭の「道」に話は戻りますが、“命のみち”と呼ばれる、そんな道づくりの「道」をあなたも歩んでみませんか?

治水、利水、環境 3本の柱で「命」と「財産」を守る

中国地方の人口や資産は、河川の氾濫区域に集中しており、洪水や土砂災害など自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守るために河川、ダム、砂防、海岸の整備や管理とともに、うるおいとやすらぎの空間を創出するための環境整備を通じ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「美しく豊かな自然環境の保全」を目指します。



PICK UP! 斐伊川放水路

島根県東部を流れる斐伊川。斐伊川・神戸川の沿川は古くから幾度もの洪水被害に見舞われてきました。毎年のように発生する洪水は、神話に登場する大蛇のヤマタノオロチにたとえられ、恐れられていました。約25,000戸の浸水被害が生じた、昭和47年7月洪水を契機に斐伊川の治水対策が計画されました。

治水対策は、3つの事業柱から成り立っています。

- ①上流の尾原ダム・志津見ダムの建設
- ②中流の斐伊川放水路を建設
- ③下流の大橋川の築堤等の改修、中海・宍道湖の湖岸堤整備

写真の斐伊川放水路は、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流させ、斐伊川下流や宍道湖の水位上昇を抑え、氾濫を防止しています。工事は、平成6年から本格的に始まり、平成25年、延長13.1kmにわたる放水路が完成しました。

PICK UP! 斐伊川放水路

『巨大水路』に託された重要な役割

技術(土木) 出雲河川事務所 神戸川・放水路管理室 係長 和田 英治

私が働いている出雲河川事務所では、長年、斐伊川の治水に取り組んでいます。その中でも『斐伊川放水路事業』は、斐伊川の洪水の一部を隣接する神戸川を経由して日本海に流す大規模な事業で、計画から約40年もの歳月をかけ、平成25年に完成しました。

斐伊川放水路には、普段水が流れていなかった初めて見た方は疑問に思われることが多いようですが、洪水時には姿を一変

して斐伊川の水を分流し大きな治水効果を發揮します。

私は、主に斐伊川放水路の施設管理を担当していますが、これまで先輩方が築きあげた歴史の重みを感じつつ、大規模な洪水から沿川の皆様の生命・財産を守ることを第一の使命に、日々やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。

皆さんもそんなプロジェクトに参加してみませんか?



魅力あるかわづくり

技術(土木) 岡山河川事務所 調査設計課 係員 西川 明花

私は主に河川の工事や管理をする際に必要となる最新の河道状況を把握するための調査を行っています。調査の内容としては河道の測量や河床材料調査、河川に生息する植物・動物などの調査、水質調査、河川空間の利用状況調査と多岐に渡っています。周りの方にサポートをいただきながら勉強の毎日です。

また近年では女性の技術職員も少しずつ増えており、女性の意見も大切にしてもらえる職場だと感じています。入省したての1年目のときから「どう思う?」と意見を問われることも多く、国民のくらしを支える整備局の一員として働くことにやりがいを感じています。



誰もが憩える河川のために

事務 岡山河川事務所 占用調整課 流森 佳穂

本来、河川は誰もが等しく利用できる憩いの場ですが、私的な土地独占などの不適正な使用は、その妨げとなります。私が担当しているのは、河川の利用に関する許認可事務です。河川が適正に利用されるよう、河川法という法律に照らして審査し許可しています。不法に河川を使用している人々には、行政指導をすることもあります。指導の結果、不法状態が解消されたときには、大きな達成感が得られます。

仕事は事務所内での作業が主ですが、時には現場にて河川の利用状況を調査したり、技官の方とチームを組んで堤防の点検をしたりすることもあり、事務官と技官が一体となって河川を守っていると実感できる職場です。



水門建設・管理



河川堤防の耐震化



ダム管理



親水護岸整備

人と人、町と街 地域を繋ぐ生命線

地域振興や物流の効率化に欠かせない道路。広域的な高速ネットワークを構築する高規格道路整備や一般国道の整備、交通安全事業など、地域発展の基盤整備を進めるとともに、道路の維持管理を行います。また、既存インフラ施設の老朽化対策など時代に対応した整備を目指しています。



PICK UP! 山陰自動車道 つなげよう、地元の未来

技術(土木) 松江国道事務所 工務課 係長 上角 弘樹

私は、山陰自動車道の一部を担う大田・静間道路の建設事業を担当しています。

地域や関係者との協議・調整を行いながら事業を進めています。山陰自動車道は地域の期待も大きく、「早くつなげて」、「開通したら、通勤圏内が広がるから雇用拡大につながる」など多くの声を多く聞きます。



多くの人に喜んでもらえる道路を目指して

技術(土木) 広島国道事務所 調査設計課 係員 三上 里奈

私は、道路や橋の調査・設計等を担当しています。快適に利用でき、維持管理し易い道路にするにはどのような構造が良いのか、市町や県、地域の方々と日々相談しながら、設計を行っています。

それぞれに想いがあるため、個々の想いを1つにまとめて形にしていくことはとても大変ですが、関係者の意見を取りまとめ決めていったものが、実際に図面となり現地に出来あがっていく姿を見ると、とても魅力的で楽しい仕事であると改めて感じます。



支えてくれる仲間がいます

事務 山口河川国道事務所 用地第二課 係員 奥濱 啓太

私は、公共事業に必要となる用地取得業務に携わっています。主には、移転していたく必要のある建物等の補償金の算定や、土地所有者をはじめとする権利者の方々への補償内容の説明を行っています。

権利者の方々との協議では、大変を感じる場面もありますが、粘り強く協議を重ね、契約締結に至った際には、大きな達成感を味わう事が出来ます。

また、用地取得業務では、土地評価や建物に関する知識だけでなく、不動産登記や、補償金に対して課税される税金等の幅広い知識が求められます。そのため、日々分からぬ事も多くありますが、先輩や上司が丁寧に教えて下さり、非常に働きやすい職場であると感じています。



道路建設(山陰自動車道)



除雪作業



トンネル点検



道の駅(山口県萩市)

地域の経済を支え世界と結ぶ「みなと」

地域の経済・基幹産業を支える「みなと」づくり

原材料の調達や製品の出荷において、効率的な海上輸送を実現することで、地域の経済や基幹産業を支える港。

産業の国際競争力を強化するとともに、災害に強く、環境に優しい港湾を目指します。



地域産業を支えています

技術(土木) 宇野港湾事務所 保全課 係員 坂井 宏衣

中国地方の穀物輸入拠点となっている水島港では、現在大型船の入港を可能とするために新たに岸壁の築造工事を行っています。私は、工事が発注通りに、かつ安全に施工されているかの確認や、円滑に進むよう関係者と調整を行うなどの、現場監督の業務に携わっています。

入省当時は港湾についての知識はほとんどなく分からぬことばかりでしたが、周りの諸先輩方から様々なことを教わったり、実際に工事現場を目で見ることができたりと、日々勉強しながら業務を行える環境にあります。海しかなかった場所に新たに大きな構造物が造られていく様子を見ると、自分がこの事業に携わっていると実感することができ、とてもやりがいのある仕事です。



目指せ! 事故率0%、やりがい100%!

技術(土木) 境港湾・空港整備事務所 保全課 係員 西林 孝朗

私は現在、鳥取県の境港で岸壁の整備事業に携わっています。業務内容は、実際に工事の監督や、工事を発注するための資料作成などです。工事は設計通りにできることの方が多いですが、工事受注者と共に問題を解決しながら進めます。工事の規模が大きく、苦労するからこそ、完成したときの達成感はひとしおです。港は、人や物が日本と外国を行き来する手段の一つとしてとても大事な役割を果たしています。工事で作った構造物が私たちの生活やその地域にとても役立っていると考えるとやりがいが生まれませんか?

国民生活を豊かにするために私たちと一緒に働きましょう!



くらしを支える仕事です。一緒に働きましょう!

事務 本局総務部 人事課（港湾空港担当）田中 佳子

人事課で採用業務や人事異動に関する業務に携わっています。国民のくらしを支える整備局の一員として、職員をサポートする現在の仕事にやりがいを感じています。法律や規則等の様々な知識が必要ですが、先輩や上司の助けをいただきながら日々勉強しています。

先輩方は育児休業等の制度を活用して仕事と子育てを両立されているので、女性も働きやすい職場環境だと実感しています。多くの人の役に立てる魅力的な職場で皆さんも私たちと一緒に働きませんか?



世界に開き、
広域交流を支える空港



広島空港 人工地盤(電波高度計用地)



水島港



賑わいのある「みなと」づくり

まちづくり・すまいづくりを支える

中国地域の経済・社会の活性化や、個性豊かな地域社会の実現、都市の健全な発展と文化の向上を目指して、中国地方の歴史・文化・自然環境等の特性を活かし、活力と魅力あふれ、暮らす人にも、訪れる人にも快適な「まち」をつくるための様々なサポートを行っています。



国営備北丘陵公園

多様化するレクリエーション需要に応え、豊かさを実感できる暮らしの実現に向け、国営公園の管理を行っています。

まちの魅力を高めるために

技術(土木) 本局建政部 都市・住宅整備課 係長 日高 雅彦

進化しつづける「まち」、課題を抱える「まち」と、今後のまちづくりについて今まで以上に考え取り組んでいく必要があります。

例えば、人口減少、少子高齢化が進む中「コンパクトなまちづくり」をスローガンに、この縮小をポジティブにとらえ、より魅力的なまちづくりが一層求められています。

また、一方で、中国地方では平成30年7月豪雨災害のような頻発する大災害に備え、安全・安心に暮らすことについても考えていく必要があります。

まちづくりの答えは一つではありません。

国は直接まちづくりを担うわけではありませんが、このような多岐にわたる課題に対して、県や市町村と一緒に汗をかきながら、将来のより魅力的なまちがつくられるよう、課題解決へ向けた取り組みを進めています。

まちづくりに関わることのできる職場「建設部」で一緒に頑張ってみませんか。



魅力あふれる公園づくり

● 技術(土木) 本局建政部 都市・住宅整備課 係長 尾長 ゆかり

中国地方で唯一の国営公園である備北丘陵公園の維持管理に係る仕事に携わっています。備北丘陵公園は年間40万人を超える方にご利用いただいており、平成27年度の年間入園者数は開園以来、過去2番目となる52万人を超えるました。その一方で、開園以来20年が経過し、施設の老朽化対策が維持管理面での課題の一つとなっています。

多くの方に安全で安心してご利用いただくため、日々の点検等、安全管理はもちろんですが、計画的にまた効果的に施設の補修や更新等を進めていくことが重要です。

「ふるさと・遊び」を基本テーマに、中国地方の歴史文化の保存・継承の取組を推進する様々な体験プログラム、地域住民や公園利用者との協働による公園管理、また誰もが安全で安心して利用できる公園づくり等を重点事項に掲げ、ポスターやチラシ、SNSでの積極的な情報発信や多彩なイベントを開催し、魅力あふれる公園の管理運営を進めています。



周南市徳山駅前賑わい交流施設
(山口県周南市)



神門通り線街路整備
(島根県出雲市)



歴史まちづくりの推進
(岡山県倉敷市)



廿日市駅自由通路階段部
(広島県廿日市市)



浸水対策下水道幹線
(広島県広島市)



大型遊具の設置
(広島県三次市)

災害から地域を守る ～私たちの使命～

平成30年7月豪雨により広島県や岡山県で甚大な被害が発生しました。また、今後、南海トラフ巨大地震による広域的な大規模災害の発生が懸念されています。中国地方整備局は、防災・減災に努めるとともに、災害が発生した場合には、初期段階の応急活動から復旧・復興における支援など、一連で対応を行っています。地域の皆さんの安全・安心なくらしを確保することが、私達の使命です。



TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

TEC-FORCEは、大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災した地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。TEC-FORCE隊員は、職員の中でも専門的な知識や現場経験などを有した災害対応エキスパートで構成されています。地方自治体などへの支援が必要となる大規模災害が発生したときは、即座にTEC-FORCEを派遣し、防災ヘリコプターや災害対策用車両（排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など）の出動により、被害の拡大防止や被害状況の調査などの支援を行います。

●近年の主な支援実績

平成23年3月	東日本大震災	東北地方	92日間／延べ1,152名／照明車、排水ポンプ車、 28日間／延べ920名／照明車、排水ポンプ車、衛
平成25年7月	山口・島根豪雨災害	山口県、島根県	16日間／延べ562名／照明車、排水ポンプ車を 派遣。
平成25年8月	島根豪雨災害	島根県	機支援車を派遣。
平成25年9月	台風18号	京都府、滋賀県	待機支援車を派遣。
平成26年8月	広島豪雨災害	広島県	機支援車を派遣。
平成27年9月	関東・東北豪雨災害	茨城県	星通信車を派遣。
平成28年4月	熊本地震災害	熊本県	
平成28年8月	北海道・東北豪雨災害	北海道	
平成28年10月	鳥取地震災害	鳥取県	
平成29年7月	九州北部豪雨災害	福岡県、大分県	
平成30年7月	平成30年7月豪雨	岡山県、広島県	
平成30年9月	北海道胆振東部地震	北海道	

全国の機械をフル活用！早期復旧へ！

機械職の私は、平成30年7月豪雨の際、TEC-FORCEの応急対策班として岡山県真備町などへ災害対策用機械と共に派遣され、被災地の早期復旧の支援を担当しました。

現地では、全国の整備局から集結した多くの機械を使用して復旧作業を行うこととなるため、各機械の特徴や機能に応じた配置を計画し、一つのチーム

技術（機械）本局企画部 施工企画課 建設専門官 山口 正樹

としてどのように運用していくかが復旧の鍵となります。

また、復旧作業は刻々と状況が変化するため、自分で現地を確認したり、要望を聞き取って、常に効率的な配置を考えながら、被災地の早期復旧に少しでも役に立てるこことを心がけて、チーム一丸となって復旧作業を行いました。



活躍する仲間達の臨場感あふれる写真を！

平成30年7月豪雨災害の時に、TEC-FORCE広報班として岡山県へ派遣されました。広報班の仕事は、TEC-FORCE活動や決壊した堤防の緊急復旧工事に従事する職員や建設業者の活躍を写真や動画で撮影し、記録に残すことです。

私自身派遣が決まった後に、職場の先輩にどうすれば臨場感あふれる写真が撮れるか教わり、隊員同士あるいは隊員と関係者が災害現場で相互に協力

しながら、使命感をもって活動している姿を伝えられるように心掛けました。

その結果、自分が撮った写真・動画が災害記録誌や整備局ウェブサイトの記録写真・動画に採用され、皆様の目に触れることになり、自分も災害対応の一役を担っていることに、「やりがい」と「達成感」を感じました。



防災力で早期復興を支える

技術（土木）本局企画部 防災課 係長 福田 幹夫

近年、大規模災害が多く発生していますが、私はそのような災害に備えるための行動計画策定や防災関係機関との連携など、防災力向上を図るために仕事をしています。

平成30年7月豪雨災害では、各地で甚大な被害が生じましたが、国土交通省では職員一丸で早期復興に向けた取組や自治体等へ支援活動を行いました。私自身も全国から集まつたTEC-FORCE隊員の対応等を行い、職員一人一人が使命感を持って活動を行う姿に力強さを感じました。

今後も南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念されていますが、私たちが暮らす国土を守るというやりがいのある仕事です。皆さん個々の力を発揮してみませんか？

被災地域の安心・安全な暮らしを目指して

技術（土木）太田川河川事務所
安芸南部土砂災害復旧対策出張所 係員 高木 恵里菜

私は、平成30年7月豪雨により、土砂災害が発生した地域の復興を支援するために新設された出張所で働いています。

被災地域に砂防堰堤を建設するための設計や、その工事発注に携わっていますが、地域の方々からは不安や期待の声が多く寄せられ、一日も早く元の生活に戻っていただきたいという思いで、仕事に取り組んでいます。平成31年4月から砂防堰堤工事が始まっており、検討した設計が形になってくるのを見ると、やりがいを感じます。

災害から国民を守り、社会の安心・安全をつくるため、私たちと一緒に働きませんか？



平成30年7月豪雨時の被害状況



H30.7岡山県倉敷市真備町



H30.7広島県坂町

平成30年7月豪雨時の対応状況



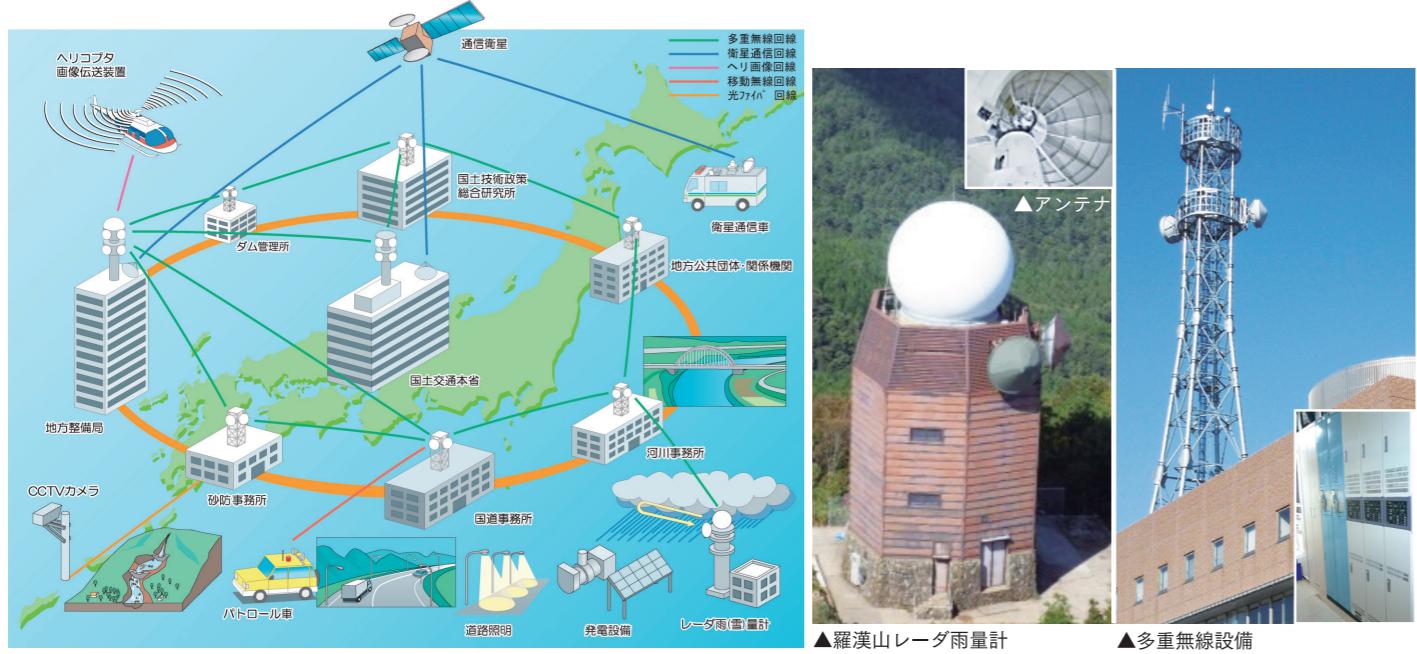
H30.7排水ポンプ車稼働状況



H30.7自治体支援（道路啓開）

電気通信

災害時に重要となるレーダ雨量・水位データといった河川情報や、道路を安全に利用するための道路照明施設・トンネル警報・情報表示施設など、安心で快適な暮らしを実現するために、電気通信施設の果たす役割はとても重要です。国土交通省では、台風や地震といった災害発生時でもリアルタイムかつ確実に情報を伝送できるよう、無線や光ファイバー通信を組み合わせ信頼性の高いネットワーク構築を構築し、これら施設の企画・設計・施工管理を行っています。



災害時の活動状況(情報通信班)



全ての事業は情報通信技術なしでは成立しません!

技術(電気) 本局企画部 情報通信技術課 係員 原口 史也

災害時等に活用される無線通信装置の整備計画や整備にあたっての電波利用申請手続きなど、計画から運用に至るまでのあらゆる仕事に携わっています。また、情報セキュリティについても担当しており、業務で使用するコンピュータの情報漏えい対策、ウイルス対策なども行っています。

災害時において映像などの情報を伝達することは、被害拡大を防ぐために重要な要素です。情報伝達の手段をすぐに確立することで、多くの方の安全な生活を守ることに繋がります。そのような仕事に主体的に携われる環境があることを魅力だと感じています。



機械

安全で安心な地域づくりのための河川、ダムや道路などのインフラ整備・管理において、機械技術は欠かせないものです。インフラが確実にその役割を果たすため、「建設機械」の開発・配備・運用や「機械設備」の計画・設置・管理などを行うとともに、中国地方の各事務所に災害対策用機械を配備し、災害発生時に迅速かつ的確な復旧作業ができる体制を整えています。

また、現場における生産性向上を目指したICT(情報化通信技術)施工の推進、「次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入」の推進、優良な民間の「新技術」の活用促進、など多岐にわたる業務を行っています。

地域の安全・安心を支える機械技術

技術(機械) 企画部 施工企画課 施工係 係員 沖胡 達也

私が中国地方整備局に入った理由はダムを代表とした大規模施設の管理や、話題のICTなど新技術に携わりたいと考えたからです。機械職員は、河川と道路のどちらにも機械設備があるため、ダムだけでなく、排水機場や道路トンネル設備などの機械設備の設計から維持管理までを担っています。また、建設機械でも大型遠隔操縦式草刈機にICT技術を使用して、除草した箇所がタブレット端末のマップに着色され、電子データで管理できる開発を行うなど、建設事業に幅広く携わることができます。私も地域の安全・安心を支えるため、日々知識を深めて、いろいろな仕事に取り組んでいきたいと強く思っています。



建設機械の開発・配備・運用



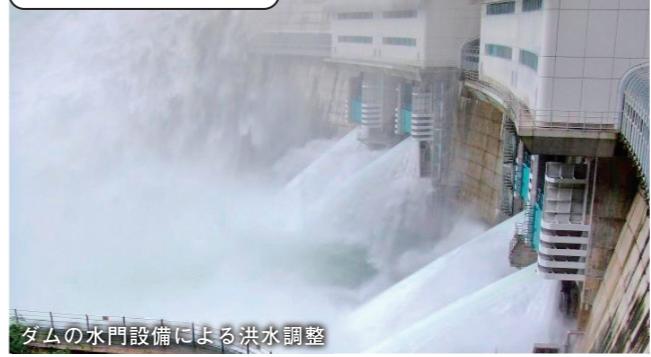
開発機械による堤防除草(大型遠隔操縦式草刈機)

建設機械の開発・配備・運用



「除雪グレーダ」による圧雪除去

機械設備の設置・管理



ダムの水門設備による洪水調整

災害復旧作業の支援



TEC-FORCE
(排水ポンプ車による排水作業)

ICT施工の推進



※MC(マシンコントロール)
とは、衛星システムで位置を計測し、3次元データを基に建設機械を自動制御する技術

ICT建設機械による施工

インフラ用ロボット開発・導入の推進



水中ロボットによるダム点検の現場検証

営 繕

営繕とは、「建築物の建築、修繕又は模様替え」をすることです。馴染み深い法務局、税務署、職業安定所（ハローワーク）から、それらを集約した合同庁舎、文化施設、研究施設など、国民の共有財産である国家機関の建築物（官庁施設）の企画・設計から工事監理、さらには維持管理に関するアドバイスまでを一貫して行っています。安全・安心な、便利で親しみやすく、地球環境にもやさしい官庁施設を長く使えるよう施設整備を進めています。



▲免震レトロフィットにより、従来の外観等を残して、災害応急対策活動の拠点としての機能強化を図った広島合同庁舎1号館



愛される公共建築

技術(建築) 本局営繕部 整備課 係員 勝丸 千尋

建築意匠の設計審査を担当しています。設計を図面として形にする中で、設計者がその能力を最大限に発揮できるようアドバイスしたり、関係者と調整したりするのが仕事です。

建築設計にかかる仕事の面白さは、建物の機能、規模、敷地、設計・工事の工程、工事費などの様々な条件から、設計者とともにオリジナルな設計図を作る過程にあると思っています。また、その建物で働く方や利用する方、地域の方々のニーズを把握し、設計に反映していくことも大切です。それらのニーズに優先順位をつけて、取捨選択をしていくことに難しさと奥深さがあります。完成した建物に愛着を持ってもらえるよう、建物を使うひとに寄り添った設計の必要性を日々実感しています。

